

【北海道雄武町】

校務D X計画

「G I G Aスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」提言や「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、チェックリストに示されている、教育委員会及び学校が教育D Xを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で次に掲げる事項を推進する。

1 校務系・学習系ネットワークの統合

現在、町内すべての小中学校において、「校務系」と「学習系」のネットワークを切り分けて構成しており、それぞれの環境下で利用する端末を整備し運用している。

グループウェア（desknet'sNEO）と学校内共有フォルダのクラウドストレージ化など、いわゆる「校務系」においてロケーションフリーで接続可能な環境を順次整備を進めてきたところではあるが、今後、教職員一人ひとりの実情に合わせた働き方を実現するため、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、セキュリティ対策を十分講じた校務系・学習系ネットワークの統合について、調査検討を進める。

2 各種校務のデジタル化

F A Xでのやりとりや押印については、原則廃止とし、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業については、各種データを連携し、極力削減する。

3 クラウド環境を活用した校務D Xの推進

現状、校内におけるクラウド環境は順次整備しているところではあるが、今後も校務におけるD Xを積極的に推進し、次世代校務支援システムについても情報収集を行い、必要に応じ、導入に向けて検討を行う。

また、保護者と学校間の連絡体制やアンケート等の実施については、現状もクラウドサービスを利用しており、今後もすべての学校において積極的に推進する。